

2011年10月13日
株式会社ゼンショーホールディングス
広報室

「すき家」の防犯対策の拡充について

ゼンショーグループで牛丼チェーン「すき家」を展開する株式会社ゼンショー（以下ゼンショー 代表取締役社長：小川賢太郎）では、防犯対策の強化の一環として、深夜の時間帯の一人勤務体制を順次解消することを決定いたしました。

すき家では過去2年、深夜帯での強盗被害が増加しています。これに対しゼンショーでは録画装置を備えた防犯カメラを全店に設置し、各県警本部のご指導ご協力をいただいて防犯講習や防犯訓練を繰り返し実施する一方、一部の店舗では券売機の実験的な導入や深夜の時間帯の複数勤務体制の実施などの対策を積極的に進めてまいりました。

しかし残念ながら強盗被害は減少せず、昨日、警察庁生活安全局生活安全企画課より防犯対策のさらなる強化についてご指導をいただきました。

これを踏まえ、ゼンショーではこれまで進めてきた防犯対策のうち、すでに一部の店舗で実施していた深夜の時間帯の複数勤務体制をいっそう強化することを決定いたしました。

本年12月末までに全店舗の60%、2012年3月末までには全店舗を目標に、深夜の時間帯の複数勤務体制を確立することといたします。

今後もさらなる防犯体制の強化に努めてまいりますので、関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。